

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100781
法人名	社会福祉法人 翔風会
事業所名	グループホーム つわぶき
所在地	鹿児島市喜入町6987番地 (電話) 099-202-0080
自己評価作成日	平成30年11月20日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年12月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・地域は静かな環境で、交通も便利な商店街でもある、日中は小学校が施設の正面に有り、子供たちの声を聞かれ交流も出ています。
24時間医療連系継続しております。
地域、自治会に加入し地域の行事、清掃に参加しています。
ホームの行事に地域の方々が参加してくれます。
院長：認知症の講演、県内で行っています、毎月職員の研修も出ています。
理事長：マジックで認知症の利用者、地域の方々の気持ちを穏やかにしてくれます。
夜間帯は静かで睡眠に適しております。
夏の花火は屋上で観覧。
4階建て津波や災害時の避難場所に小学生も訓練しております。
小さな畑に無農薬の野菜を利用者に提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○母体の医療機関を通じて長年培った信頼関係があり、地域と深くつながっている。自治会活動、隣近所の日々の声かけや回覧板を通じての交流している。散歩や買い物に出かける機会もあり、地域の夏祭りや六月灯、老人会の方々と餅つきやちまき作り、レク活動を通じての交流、食事会などあり、小学校の運動会への参加、小学生の体験学習や中学生のボランティアを受け入れている。法人の地域交流活動スペースでは、日本舞踊やハーモニカの演奏を楽しむ機会もある。また、地域から防災頭巾を提供されたり、草払いをお手伝いいただくほか、認知症の啓発・啓蒙を目的とした講演会を開催し、地域の方々が参加されている。法人は、津波の避難場所として特別養護老人ホームの屋上を地域に開放している。

○食事は、管理栄養士が作成したメニューに、菜園や地域、家族からの差し入れのあった旬の食材を取り入れている。職員は、梅干し、切り干し大根、ゴーヤなどの常備菜や手作りおやつ(ホットケーキ、芋だんごなど)を楽しんでいる。
季節ごとの行事食にも力を入れており、利用者の誕生日は、ケーキを手作りし、一緒に食事を楽しんでいる。嗜好調査を実施、メニューを入れ替えたり食事形態を工夫して食べやすくして食事や栄養摂取ができるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝申し送り後、理念を唱和し実践につなげている。ケアが多忙ながらも出来ている。 	開設当初からの理念は、リビングやトイレなどに掲示されている。職員は、申し送り時や毎月の職員会議で唱和し、日々のケアを通じて理念を振り返る機会を設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<ul style="list-style-type: none"> 随時訪問を受け入れている。垣根越しの声掛け、回覧板。行事等の連絡、行事等の招待地域行事の参加、食材の頂きもの、散歩や買い物等外部の方と交流している機会を設けている。 	自治会に加入し、総会や清掃に参加したり、地域行事を通じて交流し、慰問や小・中学生のボランティアを受け入れるなど社会貢献している。また、利用者の能力に応じてお手伝いをいただきながら雑巾を小学校に寄贈している。地域の方から野菜の差し入れがあったり、総会や回覧版を通じて情報収集し、地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	<ul style="list-style-type: none"> 小学校へ雑巾寄付、体験学習 地域包括センター交流、研修 民生委員との交流 地域の方々へ認知症について講演で呼び掛け。 	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<ul style="list-style-type: none"> 外部評価結果を運営推進員へ配布している。 交番は交通安全について消防署は火災避難等について民生委員は住民状況自治会長は地域の情勢家族は入居者の状況	会議は、法人の代表者や行政を始めとして地域の方の参加も多く、活発な意見交換がされている。また、年1回は、防災訓練と同時に開催し、参加メンバーにも一緒に参加していただくなどして意見などをもらっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・介護保険・福祉 期日前投票 利用者の状況調査	支所は、徒歩で行ける距離にあり、直接窓口に出向き面談にて相談やアドバイスなどをもらうことも多く、相互に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・身体拘束しない話し合い。 施設全体拘束について研修します。	身体拘束等適正化の推進もあり、指針を整備し法人と合同の研修会に参加している。管理者や職員は、日頃のケアの中で特に言葉の使い方には注意を払うよう心がけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・スタッフのストレスについて研修。 解消法の研修		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・入居者を尊重し、本人のペースに合わせた生活をして頂けるように毎月カンファレンス、認知症勉強会施行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<ul style="list-style-type: none"> 何でも相談できるように本人、家族との話し合いホームの決まりごとの説明をしています。入居前にホーム見学を促している。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 入居者個々に受け持ち担当者がおります。本人家族の要望を言いやすいようにしています。 	年1回の家族会や電話や面談、担当者会議などで意見や要望を聞く機会を設けているが、出された意見は連絡ノートで情報共有し、職員会議などで話し合い、アンケート調査の結果を分析しサービスの質の向上に繋げている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼、職員会議、全体会議、職員の意見を述べる機会を作っています、職員とのコミュニケーションは良いと思います。 	管理者や職員は、随時面談を行い、朝礼や定例会議などで意見交換し、やりがいがあり働きやすい職場、離職のない職場環境や条件を検討し関係構築に努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 働きやすいように就業時間が来たら帰宅を促してくれる。研修を促す。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・研修等のコピーを配布勉強会、内部外部研修も組み立ててくれます。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・浜田グループ会議、隣GH交流も行い、地域交流研修参加しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・Dr, 本人家族、多種職や知人地域の方々、本人に関わる人から情報を収集しています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・いつでも、何回でも面会して頂き、利用者の状態を見て頂き要望を受け入れて共に学んでいる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・本人家族の言葉を重要しいつでも話し合いの場を設けています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・人格の尊重・思いやりの精神、本人ペース、様子観察は出来ているがゆっくりと会話や行動を共にすること半数の利用者です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・面会時キーパーソンへは入居者の状況、診察、検査結果チェック表で説明してサイン同意をもらっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・在宅生活品を持ち込まれて安心した生活が出来るように設置場所を本人に聞きながらしております。	訪問美容師との馴染みの関係や家族と買い物、墓参り、家族や職員と馴染みの地域にドライブをして関係性が途切れることがないように支援している。年間の面会者数も多く利用者、家族は地域で暮らせることに喜びを感じている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者同士の会話や作業調理等がやりやすいように空間提供しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退居後も家族との行事関係認知症について相談を受けています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<ul style="list-style-type: none"> 本人の訴えを傾聴や表情様子観察しながら出来ることはすぐにでも対応、無理なことは家族を交えて話し合いをしている。 	本人の何気ない言動やしぐさ、表情などから思いを把握し、気持ちを汲み取るよう努めており、家族とも思いが共有されるよう支援している。職員は、連絡ノートに情報を記入して申し送り時やカンファレンスなどで話し合い、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 個々の性格、習慣を崩さないように本人の暮らしたい希望によったケアを統一している。 		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態はDrの指示、食事に対しても、生活能力面に添って一緒に行動や作業、調理、好きなこと等ゆっくり過ごせるよう努めている。 		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<ul style="list-style-type: none"> 何時も聞き取りや担当者会議、カンファレンス、 モニタリングで状況について意見や要望、結果などを説明し話し合っている。	担当者会議では、家族や職員が参加し、本人の望む暮らしや生きがい、役割などを検討して、本人らしく暮らすことができるよう検討している。モニタリングは、概ね6カ月ごとに実施し、目標やサービス内容の見直しについても柔軟に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日バイタルサイン、様子観察、チェック表、介護記録し確認共有している。 ・カンファレンス結果をチェック表記載し共有しケアに努めている。 		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン共有し、ケアに取り組んでいる。 ・カンファレンスの結果をチェック表記載しケアに取り組んでいる。 		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々も自由に来られ利用者との交流につなげている。 		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・同敷地内にある浜田クリニックから月2回訪問療養管理指導、診察検査等 	母体医療機関のオンコール体制があり、訪問診療や看護体制が構築されている。お一人、見守りにて内服薬を自己管理される方があり、自立支援に繋がっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入居者に異常がある時はNs報告、指示をもらっている、他の部署のNsに相談する。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入院先へ情報提供やTEL等、関係者と連絡をしております。面会、家族からの聞き取りを行っている。 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入居契約時に重度化について説明、同意書をもらう。終末期の指針については医師、本人家族、スタッフで話し合い。 	<p>契約時、重度化や終末期に向けた指針を提示し説明、利用者や家族の意志確認を文書にて交わしている。看取りの実績もあり、重度化し看取りを希望されている利用者、家族が現在おられチームケアにて支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修で実践力があり連携も取れています。 24時間時緊急対応シートを壁に表示してある。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・年に2回は防火訓練 火災・地震・水害・台風 入居者は避難訓練</p>	<p>消防署立ち合いの下、年2回昼夜想定 の避難訓練、避難経路の確認や場所の把握 をしている。自治会長や地域住民、関連施設 の協力体制がある。備蓄は、法人やホームで 缶詰類や防災グッズを完備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> 理念を唱和し、理念に沿った、ケアをしましょうで始まります。プライバシーの保護は中々です、気配りはしている。 	常に理念を意識し、人格の尊重、尊厳を持ってケアに取り組み、プライバシーに配慮したケアを実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> 日ごろから本人の意見を傾聴し、家族へ相談し希望をかなえています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> まず本人の様子を観察し何をして過ごしたいか本人に聞き取りや希望を優先。意欲がない時は気分転換に散歩畑見学や植え方の指導をもらいます。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> 服選びは本人が決めたり職員と話し合って選んだり、整容については本人家族と話し合いの中で顔そり本人に任せる。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 野菜切りをして頂いたり畑の野菜等の収穫をしてもらう。 嗜好調査を実施 食事形態を本人に合わせる。 	<p>管理栄養士が作成した献立にて、旬の野菜を活用し食事形態を工夫して食事が季節感や生活習慣を感じる事ができるよう支援している。年越しそばは、昔ながらの手作り出汁にて利用者の満足度も高い。手作りのおやつ作りや家族会での食事も利用者の楽しみの一つになっている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理栄養士の献立に沿って調理し提供している。 食事や水分量チェックしています。不足時は代替え食品で補う。 	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・毎食後口腔ケアを行い忘れる時は声掛けをし必ず口腔ケアをし頂く。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・排泄の声掛けや誘導を行う、出来るかぎりトイレで排泄をしてもらっている。	排泄のリズムを把握し、尿意、便意が曖昧だったり、ない方については、定時にトイレ誘導、おむつ交換するなどして排泄の自立支援を実践している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘症の利用者は下剤あり排便状態によっては下剤調整、食事を完食して貰うこと、分量摂取に気を付けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・本人や家族の希望があればいつでも入浴できます。	基本的に午後から入浴していただき、毎週娘さんが面会に来られた時にスムーズに入浴していただいている方がいるが、本人の希望や必要性に応じていつでも入浴が楽しめるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・在宅での生活習慣沿ってそれぞれが入眠されています、不眠時は日中に休息。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・カレンダー式で1回分ずつリビングへ持参出来る1名。副作用確認、様子変化に注意しDr報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・認知症の進行もあり、出来ていたこと出来ない。献立書き、洗濯物たたみ干し野菜切り、調理、下膳		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・本人の様子や訴えに合わせて散歩。 花見家族と共に行う。 家族同伴ドライブ。 スーパーへ時々買い物に出かける。	近隣を散歩したり、外気浴している。年間行事にて初詣、季節ごとの花見見物、ショッピング、ドライブなど計画して外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・利用者が金銭管理出来る人本人管理。 小遣い銭を預かり、欲しい物があれば一緒に買い物、ホームで購入しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 希望があればいつでも電話はかけていますが相手のことも思い20：30までに。手紙も書いて頂き便送しています。 		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 共有空間はいつも掃除し換気や照明に気を配りローカでも会話ができるように工夫したり、人数の多い時は地域交流室を使用しています。 	<p>食堂は、対面キッチンであり、匂いや音などが五感を刺激し、食事の準備や片付けをするなど家庭的な雰囲気である。空気清浄機や加湿器があり、室温を調節している。廊下は広々としており、手すりが設置されている。壁には、利用者の作品が掲示され、季節を感じさせるレイアウトがされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> TVの前にソファを置き、楽に話をされる、その時の入居者の状態に応じて設置しています。東のローカに設置する。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> 在宅時使用していた馴染みの物を持ち込まれている。設置は本人と一緒にする。家族写真を貼る等しております。 	<p>夜間の転倒予防のため、予備のマットレスが準備されていたり、ベットは本人の身体機能を考慮し検討したり、使い慣れた物を持ち込み居心地よく過ごせるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本人の好みに合わせた室内セット。衣類も自由に取り出せる。手摺り使用しフラツキを防ぐ、居室内で日光浴。 	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない